

# i-ConおよびICT施工事例

1枚に1技術を目安に記載願います

2018年 7月 4日  
JCMA機電i-Con現場WG

発行No  
-

<b>■技術名称</b>	
MG重機による掘削工・捨石工（水中部）	
<b>■基本情報</b>	
会社名	
工事名（発注者）	
活用工事分類	発注者指定 / <b>施工者希望Ⅰ型</b> / 施工者希望Ⅱ型 / 活用工事以外（技術提案 / 創意工夫 / その他）
工種（大項目）	ダム / トンネル / シールド / 造成 / 舗装 / 橋梁 / 構造物 / <b>その他（河川工事）</b>
工種（小項目）	掘削・石材投入
ICT技術分類	①3D起工測量 ②3D設計データ <b>③ICT建機</b> ④3D出来形管理 ⑤3Dデータ納品 ⑥その他（ ）
<b>■実施内容詳細</b>	
対象数量	掘削工V≒11,000m <sup>3</sup> 、捨石工V≒12,000m <sup>3</sup>
実施回数・台数	MGバックホウ1.9m <sup>3</sup> 1台/約5ヶ月、MGバックホウ1.4m <sup>3</sup> 1台/約2ヶ月
実施期間	2017年11月～2018年3月（実働計 5ヶ月）
施工段階での課題と解決方法（1）	発生した課題：進捗管理について掘削はVISIONLINKで対応可能だったが、捨石工（盛土）は対応できなかった。 解決方法：地盤改良プログラム(SiteBlenderSystem)を使用して施工を行ったが、対応が出来なかった。
施工段階での課題と解決方法（2）	発生した課題：ICTバックホウによる出来形管理方法が指針等でないため、ICTバックホウによる測定は参考扱いとなった。 解決方法：従来のレッドによる測定を行った。
施工段階での課題と解決方法（3）	発生した課題：衛星の捕捉状況が良かったにも関わらずGNSSエラーが発生した。 解決方法：解決していない。

作成者氏名	
連絡先(アドレス)	
<b>■参考図・写真</b>	
	
掘削状況	掘削状況
使用機械 バックホウ：日立 ZAXIS470LCH	
	捨石工：石材投入状況
<b>■感想・要望事項</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>水中掘削のためMGバックホウの機能を有効活用できた。</li> <li>モニター画面のカスタマイズや任意座標系への変換には時間とコストがかかるため当現場では対応できなかった。</li> </ul>	